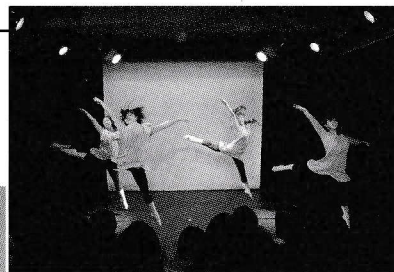
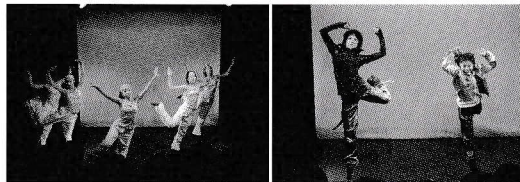


第4回ダンスプロジェクト-自由の翼-

弘前市在住／ピアニスト・前田美樹



「芸術」という言葉を「アート」とよみかえると、「アート」の意味する世界が広がるばかりでなく、アート表現する者の「生きざま」や「現在」という意味が付加されていくような錯覚を覚える。「Art=人生」であるかのような個人的なイメージではあるが。

若者の力が集結した「ダンスプロジェクト」では身体を通しての強烈なエネルギーが放出されていた。踊り手の力、裏方の力、指導者の力、音楽の力、声の力、演出の力、そして観客の力。プログラムの変化によって、会場にはさまざまな力が生まれ、混ざり合い、そして確かに響鳴しあっていた。

踊りに関して素人の私は、ダンスプロジェクトを観て、踊りと音楽と言葉の関係性に興味を抱いた。歌詞のある曲は、もともと持っている「言葉の力」が「メロディ」という原動力と融合して振りが構成され、確実なイメージの方向性をもって観客をリードしていく。それとは対照的に、歌詞のない曲では、踊り手の創りあげた「文学的な意味」を核に、そこに「メロ

ディ」と「リズム」のもつ音楽的力が吹き込まれることによって、新たな動きが誘発されていた。後者では、観客は、言葉が存在しないはずの空間で、逆に詩的な世界になげこまれる。そしてそこで踊り手からのメッセージを受け止めることになるのだ。音楽と踊りと文学のぶつかり合いが、さまざまな形やバランスで作品を創り上げていることに驚きと感動を味わった。音楽と言葉が持つエネルギーが身体を媒体にして「見えるもの」にかわる……音楽と言葉の空間を包み込む「時間」は、身体表現という目に見える「即時的な力」と融合して、強烈なメッセージ性を獲得していた。

出演は、八戸市の小中高生ばかりではなく弘前市からの高校生、二階堂高校（東京）の卒業生、日本女子体育大学の卒業生など、様々なジャンルや場所や環境で踊りを志している人たちである。またそこには、スポットライトを浴びている出演者たちだけではなく、裏方として舞台全体を支えている高校生や関係者の存在があっ

た。彼女らも、プロが造る本物の舞台を肌で感じていたと思う。プロジェクトにかかわる企画・準備・練習・打ち合わせ・リハ・サル・本番・終演・撤去。一連の過程を通してどれだけの時間が、人や音楽との出会いが、そして情熱が注ぎ込まれたであろうか。

目に見えない時間や情熱が、目に見える「舞台」となって「文化の絆」として確実に根付いていることを感じた。

このダンスプロジェクトには「自由」があった。それは、表現することの「自由」であり、また、自ら考え、行動し、努力することによってのみ体感できる「自由の翼」であると私は考えた。

「文句なしにおもしろい企画。出会ったことに心から感謝している。」

Friday Amusement Negative Shop

5月のFANS (743回~747回)

【一人芝居二本立て】

「ありがとう 第一夜」~鏡の中のメビウスの輪に、男は今、手を伸ばす~
脚本：加藤健太郎（劇団やませ）
出演：田中勉

「手紙もじゅーる」
脚本：沼沢豊起（劇団 INTELIVISTA）
出演：田中勉

この公演は、次の日程で上演予定です。

開演	5/2	5/3	5/9	5/10	5/16	5/17	5/23	5/24	5/30	5/31
14:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
19:30	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

演劇空間

スペースベン

八戸市柏崎1-11-8
☎ 0178-43-9876
FAX 050-3588-8350
☎ 080-6025-0990

HP <http://spaceben.com/>Eメール owner@spaceben.com

※特別番組以外全て午後7時30分～、料金／一般400円 高校生以下100円（当日100円増）
※チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい。

5月号好評発売中！

●今月のテーマエッセイ「ドライブ」

介護ツーリング……………内 海 隆
荒波ドライブ……………二本柳奈央子
ドライブプラスワン……………鈴 木 聡
哀しいドライブ……………熊谷実香子
ボクとクルマの愛しき日々……………しもさき博之
長いドライブの「その先」に……………奥谷富美子



●今月のインタビュー

ヘアーウィッグサロン美優代表

工藤京子さん(66歳)に聞く

読物満載

毎月ご愛読ありがとうございます

発行所／うみねこ出版社

八戸市六日町10 いわとくパルコ3F
TEL・FAX 0178-44-6636